事務事業評価＆総合計画実施計画調査シート

	コード	名　　称	区分	コード	名　　称
事業名	8	伊賀線活性化促進	会計	01	一般会計
			款	02	総務費
基本施策	49	広域的な道路・交通環境を整備する	項	01	総務管理費
			目	06	企画費
施策	5	(近鉄) 伊賀線の利用促進	細目	102	地域振興経費
			細々目	19	伊賀線活性化促進事業

基本計画該当頁	177	行革大綱の重点事項番号			
担当部課 コード	040100	評価者氏名	森本一生	連絡先	22 - 9621 (内線) 2115
担当部課 名称	企画調整課				

事業種別	新規	単独	事業類型	I	ソフト事業

2次評価対象分

事業の計画・内容

	対象等 (何を、誰を)	成果 (どうなるのか)
事業目的	高校生、老人等を中心とする伊賀線を利用する人及び市民など (※対象件数　　)	上下分離方式により運営する伊賀線の運行存続を図ることで、高校生の通学などの利便を提供する。

根拠法令・要綱等			
開始年度	平成 19 年度	関連事業	
終了年度	平成　　年度		

本年度事業内容	伊賀線活性化協議会事業委託：ギャラリー列車：展示絵画数年間約1,000枚 伊賀鉄道出資：20株 伊賀鉄道運営補助：年額6千万円又は企画振興部補助金交付要綱に定める交付率に基づく金額 児童等団体利用醸成：補助対象運賃の2分の1	状況変化等	近鉄がの第1種事業廃止申請を行い、さらに廃止の繰上げが認められたため、伊賀鉄道からの第2種事業申請、近鉄からの第3種事業申請が許可される見通しであり、10月1日から新しい運行形態へ移行する見込みである。

事業実績

活動指標	単位	実績値 H17		実績値 H18		目標値 H19	目標値 H20
赤字幅の削減	百万円	目標	—	目標		△350	△300
		実績	△432	実績	△407		
団体利用助成利用者	延人数	目標	—	目標		9000	15000
		実績	—	実績	—		
運営補助	百万円	目標	—	目標		25000	50000
		実績	—	実績	—		

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値 H17		実績値 H18		目標値 H19	目標値 H20
赤字幅の削減	将来にわたって持続的に運営するためには赤字幅を縮小することが必要である	百万円	目標		目標		△350	△300
			実績	△432	実績	△407		
利用者数 (年間輸送人員)	高校生の減少以外の現状維持	千人	目標		目標		2,100	2,000
			実績	2,298	実績	2,195		

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	4	年間の経常損益は約4億3千万円を計上しているが年間230万人が利用しており、地域における必要性は大きく、路線の維持が必要であるが、新会社への運行移行後も経営環境は厳しいため、市の支援なくしては運営することができない。
有効性	3	市の補助によって新会社の健全な運営を支援することになる。また、本年度当初において車両故障による区間運休が発生したように、車両老朽化による安全面での不安があり、20年度以降の設備投資 (車両更新) を行うことで安全な輸送を行うことができる。
達成度		
効率性	3	市、伊賀鉄道、近畿日本鉄道の確認書の履行であるため計画期間内における減額はない。但し、伊賀鉄道の赤字額が1億円程度以下になる場合は、コスト削減が可能である。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
A		

整備内容

1 建設用地	
2 建設面積 (延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運営体制

1 運営主体	□直営　□指定管理　□民間委託等
委託先	( )
2 配置 (予定) 人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の類似施設	

進捗状況

年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
委託						
工事						
進捗率 (%)						

事業内容

平成17年度 決算内容 事業内容	数量	単位	金額 (千円)	平成18年度 決算内容 事業内容	数量	単位	金額 (千円)	平成19年度 計画内容 事業内容	数量	単位	金額 (千円)
								伊賀鉄道運営補助			25,000
								伊賀鉄道出資金			1,000
								近鉄伊賀線活性化協議会事業委託			500
								児童等団体利用助成			2,048
								職員利用促進旅費			500
								その他利用促進等			998
事業費計(A)		Σ	0	事業費計(A)		Σ	0	事業費計(A)		Σ	30,046
人件費 (B)		人	0	人件費 (B)		人	0	人件費 (B)	0.5	人	3,600
フルコスト (A)＋(B)			0				0				33,646

平成20年度 計画内容 事業内容	数量	単位	金額 (千円)	平成21年度 計画内容 事業内容	数量	単位	金額 (千円)	平成22年度 計画内容 事業内容	数量	単位	金額 (千円)
伊賀鉄道運営補助			50,000	伊賀鉄道運営補助			50,000	伊賀鉄道運営補助			60,000
設備投資負担 (車両更新)			40,000	設備投資負担 (車両更新)			40,000	設備投資負担 (車両更新)			40,000
児童等団体利用助成			4,000	児童等団体利用助成			4,000	児童等団体利用助成			4,000
近鉄伊賀線活性化協議会事業委託			500	近鉄伊賀線活性化協議会事業委託			500	近鉄伊賀線活性化協議会事業委託			500
職員利用促進旅費			1,000	職員利用促進旅費			1,000	職員利用促進旅費			1,000
その他利用促進			1,000	その他利用促進			1,000	その他利用促進			1,000
事業費計(A)		Σ	96,500	事業費計(A)		Σ	96,500	事業費計(A)		Σ	106,500
人件費 (B)	0.5	人	3,600	人件費 (B)	0.5	人	3,600	人件費 (B)	0.5	人	3,600
			100,100				100,100				110,100

事業費 (人件費除く) の財源内訳

		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
(A)	事業費	0	0	30,046	96,500	96,500	106,500
Aの財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債				38,000	38,000	38,000
	受益者負担						
	その他						
	一般財源	0	0	30,046	58,500	58,500	68,500
	計	0	0	30,046	96,500	96,500	106,500
備考	その他特定財源の名称・補助基本額・率 地方債の区分と充当率等				合併特例債　40,000千円×95%	合併特例債　40,000千円×95%	合併特例債　40,000千円×95%